



254

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年3月16日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「神に近づいた」天才ニュートン ～もうひとつの顔とは～

16日(日)=1、3面

あの有名な科学者、アイザック・ニュートンに「別の顔」があったのはご存じでしょうか。

リンゴが自然に落下するのを見て万有引力のヒントを得た、という逸話は有名ですが、実はニュートンは優秀な犯罪捜査官でもありました。とりわけ、当時流行していた贋貨の铸造・流通の摘発に力を発揮しました。当時貨幣には国王の顔が彫られていたことから、貨幣偽造は国家的大罪とされていました。ニュートンは持ち前の科学の知識、とりわけ冶金（やきん）に精通してい

たため、成分分析による摘発に大きな成果を上げます。それだけではありません。夜な夜なパブに通ってアングラ情報を集めていたといえます。

さらに最近では「リンゴが落ちて発見」という定説にも疑問が向けられています。真相はどこにあるのでしょうか。

みんなが知ってるニュートンの「別の顔」をミステリータッチでお楽しみください。ロンドン支局の「ミステリーハンター」、篠田航一記者が迫ります。



英ケンブリッジ大トリニティ・カレッジのチャペルに建つニュートン像＝英南部ケンブリッジで

そこ が聞きたい

春日キスヨさんに聞く 長寿期リスクとは

16日(日)=くらしナビ面



必要な支援を受けずに、1人暮らしや夫婦の2人暮らしをしていると、生活のリスクが高まる恐れがあります。「長寿化で100歳まで生きてしまう時代を日本の高齢者はどう迎えるのか」。社会学者の春日キス

ヨ＝写真＝さんは新著「長寿期リスク『元気高齢者』の未来」（光文社新書）で高齢世代と子世代にその覚悟を迫り、「生活支援」重視の支援制度が不可欠と訴えます。

手を取り合う自民党の小野寺五典政調会長（中央）、公明党の岡本三成政調会長（右）、日本維新の会の青柳仁士政調会長（左）が、参議院議員会館で



高校授業料の無償化は、自民、公明、日本維新の会の3党が合意したこと、2025年度予算案に閣連経費が盛り込まれました。無償化には家計の状況によら

論点 高校無償化の意義と課題は

21日(金) オピニオン面

ず希望の高校を選べるようにする狙いがあります。公立から私立への生徒の流出や教育格差の拡大を懸念する声も根強いのです。その意義と課題を、

特集 ワイド

コメ高騰の真相

17日(月)=夕刊2面

コメの価格高騰が止まらず、政府はようやく備蓄米を放出します。卸売業者らが抱え込んでいる「消えたコメ」をはき出す呼び水にし、米価を抑えようというのです。しかし本当にコメは隠され

ているのでしょうか。元農水官僚でキヤノングローバル戦略研究所の山下一仁・研究主幹＝写真＝は「消えたコメなどない」と言い切ります。米価高騰の真相とは。



竹橋の窓辺から

編集後記

3月18日の開幕まであと数日となります。第97回選抜高校野球大会（毎日新聞社、日本高校野球連盟主催）。高校球児たちの熱い戦いが繰り広げられます。今年はどんな感動が生まれるのでしょうか？毎日新聞デジタルでは出場各校を取材し、連日最新記事を更新しています。観戦する方もできない方も、このサイトを見れば満足して頂けると思います。QRコードからぜひご覧下さい。（山田寿治）



毎日新聞